

授業日	5/10(火)	1 学期授業回数	4 回目 / 全 9 回
学習目標	小論文（論文）作成のための基本的なレトリックの理論を習得する － 探究結果のプレゼンテーション方法の一つとして － 探究のきっかけが身の回りにたくさんあることに気付く		
時間 授業内容	45 分 45 分	◇ ワークシート③に記入しながら、文章作成のレトリックの理論を学習する。 ◇ レトリックを「内容面」「形式面」の二つの観点によって整理して学習する。 ◇ 最終的に二つの鉄則を確認する。 ① 小論文は結論から逆算して内容・形式を構想する。 ② 小論文はいきなり書き始めることなく、必ず「設計図」を緻密に完成させてから執筆に取り掛かる。 ◇ 歌謡曲「あずさ 2 号」（歌・狩人：作詞・竜真知子：作曲・徳倉俊一：1977 年）の歌詞に含まれている矛盾（「あずさ 2 号」が新宿発の下り）に気付く。 現在では J R のダイヤでは 100%、下りが奇数、上りが偶数となっているが、1977 年当時は J R の中央集権化が確立しておらず、新宿発下り「あずさ 2 号」が存在していたことを確認し、身近な歌謡曲から「中央集権・地方分権」という探究テーマを見つけられることを認識する。 ◇ 身近な出来事から探究テーマを見つけられる具体例を学習する。 ① 渋滞学 西成活裕（東京大学先端科学技術研究センター教授）の著作から ② 沖縄差別・マイノリティ 「ウルトラセブン」の脚本家・金城哲夫の人生から ③ ジェンダー問題 斎藤美奈子の著作『紅一点論』から	
評価方法	◇ 学期末までに応募する小論文コンクールを確定して、その「設計図」に学習したレトリックを用いようとしているかどうかを評価基準とする。 ◇ 借り物の探究テーマでなく、自ら見出した探究テーマかどうかを評価基準とする。		
宿題指示	◇ 学期末までに応募する小論文コンクールを確定し、その「設計図」を緻密に書く。 ◇ 平和に関して、身近なところに探究テーマを見つける。		